

## 解答用紙

受験者シールのバーコードシール  
1枚をこの上に貼り付けてください。

受験者  
氏名

まっちゃん

ロ-プレケース 86 キャリナカ方式 振り返り

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

友達に合わせてメディア社会学科に入学したが、勉強をされていて楽しいと思えることができず、自分に合っていないと感じており、この先どうしていいのかわからず悩んでいる。

良かった点、悪かった点

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。

(良) 言語的追跡を行い、相談者の大学の専攻が合っていないという感情を傾聴できた。  
(悪) 意図性が相談者に伝わりにくい質問をしたことで一部抵抗を受けた。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 自身が今後歩んでいくキャリアに関する価値観の自己理解不足と進路を決定する上でのこれまでの経験や今後得べき経験やスキルを理解不足。  
② その根拠 相談者は理数系の勉強を楽しいと感じていたが、友人と同じ学部に入学することを優先し、無理矢理合わせて勉強をしていた点、就活をする際このままではアピールできる経験がないとの発言が根拠である。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

今の専攻が合っていないと悩む相談者の感情を丁寧に傾聴し、今勉強している内容について冷静に向き合えるよう促す。その上で、理数系の勉強の楽しさや、今の専攻している学問について振り返り、キャリアを整理しながら、大切にしたことを明確化させ、今後のキャリアに関する価値観の理解を促す。また、アピールしたい経験について確認しながら過去の経験の相違点を行い、経験やスキルの理解を深めもらう。以上により、相談者が納得いく形で今後のキャリアを決定できるように支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.3)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙